

自ら踏み出す第一歩 ～わが「道」をつくる～

道程^{どうてい}高村^{たかむら}
光太郎^{こうたろう}僕の前に
道はない
僕の後ろに
道は出来るああ
自然よ
父よ僕を
一人立ちにさせた
広大な父よ僕から目を離さないで
守る事をせよ常に
父の気魄^{きはく}*を僕に充たせよこの遠い
道程のためこの遠い
道程のため

*用語解説) [気魄]何ものにも屈せず立ち向かっていく強い精神力。



高村光太郎 (1883～1956年) 明治～昭和期の彫刻家・詩人

高村光雲の子。東京の生まれ。精神を病んだ妻の智恵子を愛し、妻の病氣静養の地として、千葉県九十九里浜を選び生活させた。詩集に『道程』『智恵子抄』などがある。

上の「道程」は、有名な詩なので出会った人もあるかと思います。詩の書き出しで光太郎は、「僕の前に道はない」「僕の後ろに道はできる」と言っています。

初めから自分の生き方や人生は決定しているものではなく、自分から一歩を踏み出すことによって、生き方や進路という道が自然と開けていくというメッセージなのです。

あなたは、「自分らしさ」について、考え悩むこともあるかもしれません。

チャレンジして失敗することがあるかもしれません。

しかし、考え悩むより、何もしないで失敗を恐れるより、行動する勇気を持って一歩を踏み出してください。

そのとき、きっとまわりの人もあなたを後押ししてくれることでしょう。

そして、そこには明日の新しいあなた自身が存在しているのです。

